

上 卷 索 引

ア 行

ア

アスファルト, 321 頁
 (下巻 72 頁に詳述)
 アスファルト釜, 353
 アスファルトプラント, 349
 アスファルト舗装, 293
 アスファルトローラ, 128, 364
 膠型碎石機, 188
 雨降りの作業, 373
 安 定 さ, 67, 116

イ

板フロート, 258
 傷み (コンクリート舗装), 281
 一様土質, 59, 74
 一層式舗装, 170
 いぼ附ローラ, 131

ウ

ヴァイブレータ, 253
 植 込 法, 415
 運搬作業 (アスファルト), 360

エ

液 體 限 度, 65
 鹽化カルシウム養生, 269

カ 行

カ

回轉碎石機, 139
 角材タンパー, 251
 角材フロート, 258
 火 成 岩, 148, 151
 型枠 (コンクリート舗装), 210
 簡易分別法, 49
 簡易舗装, 8
 岩 石, 147
 乾 濕 對 策, 124
 乾 燥 對 策, 123

キ

給 水 養 生, 267
 吸 着 水, 51
 切均らし定規, 249
 凝 集 力, 116
 均等係數, 57

ク

グ レ ー ド, 74

ケ

珪酸ソーダ養生, 269
 現場配合, 235

コ

コーア試験, 280
 膠石舗装, 176
 コンクリート基層, 341
 コンクリート舗装, 157
 コンクリートの試験, 277
 混成土質, 70, 75

サ行

サ
 砕石, 134, 135, 222, 329
 砕石道, 95
 細土, 34
 ザラザラ仕上げ, 262
 砂粒, 37
 三軸ローラ, 130
 三輪ローラ, 128

シ
 仕上機, 255
 収縮限度, 65
 濕被法(養生), 278
 濕布養生, 265
 シートアスファルト, 295, 300
 シール層, 308
 四分法, 50
 砂利, 37, 83, 222, 331
 砂利道, 82
 砂利層の粒度, 83

ス
 水成岩, 153
 砂, 41, 60, 68, 220, 326
 砂粘土道, 120
 ストークスの法則, 45
 スランプ試験, 278

セ
 セメント, 216

ソ
 双軸ミキサ, 356
 塑性数, 66
 粗粒式, A.C. 306
 ソリデチット舗装, 180

タ行

タ
 タチ

ツ
 突固め(コンクリート舗装) 250
 土の安定さ, 67
 土の水分, 64
 土の名稱, 33
 土の粒, 33
 ツルツル仕上げ, 262

テ
 泥炭土, 64, 70
 鐵筋, 198
 鐵網, 203
 テルフォード, 98
 テルフォードマカダム, 99

ト
 土質安定法, 122
 土質縦断面, 71
 土質と舗装, 68
 土質道, 5, 31
 ドッチ砕石機, 138
 土道, 73
 ドバル試験機, 141
 トベカ, 314
 ドライヤ, 351
 トラツク混合, 244
 ドラツグ, 79
 土粒百分率, 53
 道路工夫心得書, 92

ナ行

ナ
 内部摩擦力(土), 116

ニ
 乳劑養生, 266
 乳劑, 下巻 135 頁以下を見よ
 二層式(コンクリート舗装), 171
 二層式の缺點, 174
 二輪ローラ, 128

ホ
 粘土, 41, 63, 69
 粘土道, 75, 121
 粘土粒, 37
 粘土コンクリート, 85

ハ行

ハ
 配合(アスファルト舗装), 332
 配合(コンクリート舗装), 224, 226
 配合(土道), 117
 配合(砂利道), 84
 配合の古い表し方, 335
 配合の新しい表し方, 336
 排水(土道), 76
 バイブレータ, 253
 箱掘式, 86
 バツチング, 286, 287
 版の應力, 166

ヒ

比重(アスファルト舗装), 394
 比重(コンクリート骨材), 275
 表層(シートの), 297, 338
 表層(ワービットの上層), 313, 340
 ビチユリシツク, 316
 ヒルミクスチャー, 319

フ
 ファイラー, 323
 福岡縣試験舗装, 178
 ブラックベース, 343
 プラント, 350
 プラント監督, 361
 篩の目, 272
 ブレーキ砕石機, 138
 フロート, 258
 分別法の種類, 44
 分別用具, 48

ヘ
 ベーバー, 244
 ベルト, 260
 ベルト掛け, 260
 變成岩, 155

ホ
 篩目をつける, 261
 舗設作業(アスファルト), 377
 舗設作業(コンクリート), 247
 舗装費(アスファルト), 405
 舗装, 3, 4
 舗装政策, 26
 舗装の厚さ, 163
 舗装の效用, 9

工學博士 久野重一郎著
道路鋪裝法下卷

東京養賢堂近刊
A5判.上製,約300頁
本文九ポイント横組
一行36字一頁25行

「著者」京大土木卒
現に九州帝國大學教授
九大彈性工學研究所員
同工學部で道路都市
計畫構造力學誤差論を
講ず著書『最小二乗法
の用ひ方』あり

著者が20年近い講義の間に集めた資料と
戦前歐米の道路を視察して得た構想とにより
鋪裝の仕方を詳述した本で下巻は6編を収む

- 第5編 ブロック鋪裝(7章)
- 第6編 アスファルト簡易鋪裝(6章)
- 第7編 タール簡易鋪裝(6章)
- 第8編 乳劑簡易鋪裝(6章)
- 第9編 セメント簡易鋪裝(4章)
- 第10編 鋪裝の選擇(7章)

第5編 ブロック鋪裝

- 1. 一般構造, 3
- 2. 煉瓦鋪裝, 5
- 3. 板石鋪裝, 27
- 4. 小鋪石道, 33
- 5. アスファルトブロック鋪裝, 42
- 6. コンクリートブロック鋪裝, 52
- 7. 木塊鋪裝, 59

第6編 アスファルト簡易鋪裝

- 1. 石油アスファルト, 71
- 2. 透入式アスファルトマカダム, 77
- 3. 特殊アスファルトマカダム, 88
- 4. アスファルト表面處理, 93
- 5. A T 塗裝, 96
- 6. 油土道, 99

第7編 タール簡易鋪裝

- 1. 道路用タール, 105
- 2. タール表面處理, 112
- 3. 透入式タールマカダム, 116
- 4. 混合式タールマカダム, 120
- 5. タールによる路面修理, 127
- 6. タール土道, 130

第8編 乳劑簡易鋪裝

- 1. アスファルト乳劑, 135
- 2. 乳劑表面處理, 144
- 3. 透入式乳劑マカダム, 153
- 4. 混合式乳劑マカダム, 158
- 5. 乳劑の長所短所, 165
- 6. 乳劑土道, 170

第9編 セメント簡易鋪裝

- 1. セメントマカダム, 177
- 2. 路上混合式セメント土道, 188
- 3. 別混合式セメント土道, 200
- 4. 石灰土道, 212

第10編 鋪裝の選擇

- 1. 鋪裝を選ぶ條件, 219
- 2. 車道の鋪裝, 228
- 3. 歩道の鋪裝, 236
- 4. 軌道敷の鋪裝, 238
- 5. 橋面鋪裝, 244
- 6. 停車場の鋪裝, 250
- 7. 特殊箇所の鋪裝, 260

附録, 索引

工博 久野重一郎著

最小二乗法の用ひ方

B5判, 上製, 307頁, 定價4圓(送料別)

東京本郷森川町70, 養賢堂刊(振東25700)